介護事業所向け　平成26年10月1日

「**かえつ医療・介護ネットワークシステム**

『**ときネット**』について」

**『ときネット』ってなあに？**

　　　平成26年度から新発田北蒲原地域で始まる、介護と医療の新しい情報ネットワークです。この地域の介護事業所、ケアマネージャ、医師、看護師、歯科医師、薬剤師、理学療法士など多くの人々が、施設の枠を超えて、パソコンなどを使った情報交換を安全にできるようになります。

**今までは、パソコンやメールを使えなかったの？**

　　　現在インターネットや電子メールは、その便利さからビジネスの場でも広く普及しています。しかし、そのままでは中身が読み取られてしまう可能性があり、介護や病気に関する大事な情報を扱うことはできません。今まで介護や医療では電話や手紙、ファクスなどの古い連絡手段でしか、情報交換をすることができませんでした。『ときネット』は高度に暗号化されたセキュリティ（安全性・秘匿性）の高い情報技術で、大事な個人情報を守ります。

**介護事業所・在宅介護では、どんな使い方ができるの？**

　　ケアマネージャ、各介護サービス事業所、かかりつけ医、薬局、歯科医などの多職種間で、電子メールのやり取りができるようになります。さらに介護サービス利用者の同意が得られれば、複数の事業所がチームを組んで、病状、介護、薬剤の情報を、同時に共有できます。将来的には、緊急時の救命救急センターにおける利用も検討しています。

**病院では、どんな使い方をするの？**

　　　たとえば、脳卒中のために救急病院で治療を受け、リハビリのため転院し、退院後はかかりつけ医を受診するような時には、『ときネット』が役立ちます。患者の同意を得ることで、複数の医療機関で病気の状態や治療内容、リハビリの効果など、紹介状よりも詳しい情報を正確に引き継ぐこと（地域連携パス）が簡単にできます。

運営主体：「下越医療介護連携協議会」

新発田北蒲原医師会・新潟県立新発田病院・新発田市歯科医師会・北蒲原歯科医師会・

下越薬剤師会・新発田市・阿賀野市・胎内市・聖籠町

　　　詳細な内容と、申請の手続きは　後日、各団体からご案内する予定です。